

総合人文科学研究センター 活動報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

2017年度 総合人文科学研究センター年次フォーラム

2017年12月16日(土)、17日(日) 早稲田大学小野記念講堂

第9回東アジア人文学フォーラム「東アジアにおける人文学の復興」

【主催】早稲田大学総合人文科学研究センター

【共催】文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」

12月16日(土)

〔開幕式 Opening Ceremony〕

開会挨拶：大藪泰（早稲田大学文学学術院長）

各校モデレータ・チェア紹介／各校挨拶：李成市（早稲田大学文学学術院／早稲田大学理事）

〔基調講演 Keynote Speech〕 Moderator：李成市（早稲田大学）

(1) 邱錦榮（國立臺灣大學）“In Search of New Directions for Humanities Education”

(2) 貝澤哉（早稲田大学）「人文科学方法論の基礎的問題と現代的課題へのアプローチ——G. シペート、M. バフチンの理論的探究を手がかりとして——」

〔セッション1：歴史・文献 History・Philology〕 Moderator：刘石（清华大学）

(1) 金兌勇（漢陽大學校）「19세기 한국유학자 홍석주의 《정로》 고찰」

(2) 李广欣（南开大学）「中唐新春秋学“原情”思想探论——兼谈新春秋学与中唐人文理念的变迁」

(3) 彭林（清华大学）「周代的人文觉醒与天文探索」

(4) 新川登龜男（早稲田大学）「近代日本の「科学」と「人文」概念—「哲・史・文」との関係—」

(5) 苑舉正（國立臺灣大學）“Defending “Eastern Asian Values” in the Light of Globalization”

〔セッション2：文芸・文化 Literary art・Culture〕 Moderator：罗振亚（南开大学）

(1) 吳秀卿（漢陽大學校）「역사적 기억과 휴머니티로 다시 쓴 중국 고전 희곡 〈조씨고아〉」

(2) 千野拓政（早稲田大学）「「人文学の復興」とは何か？——東アジアの文化研究を手がかりに」

(3) 王成（清华大学）「修养流行的时代与汉文经典——《寒山诗》在近代日本的传播」

(4) 柳成浩（漢陽大學校）「윤동주 시의 보편성과 특수성」

(5) 张玲霞（清华大学）「实验剧场：中国戏剧复兴之路——以北京人艺小剧场为例」

12月17日(日)

〔セッション3：歴史・社会・思想 History, Sociology, Philosophy〕 Moderator：邱錦榮（國立臺灣大學）

(1) 蕭立君（國立臺灣大學）“Modernism from the Ashes, Or, the Re-introduction of Modernism to Cold War Taiwan”

(2) 甚野尚志（早稲田大学）「日本の近代歴史学と概念化の問題—「封建制」概念をめぐる—」

(3) 蔡祝青（國立臺灣大學）「帝國視野下的壯遊：鹽谷温《臺灣遊記》中的風土人文與（反）殖民意識」

(4) 杨传庆（南开大学）「《人间词话》：王国维“自悔少作”了吗？」

〔セッション4：言語・文学 Linguistics, Literature〕 Moderator：徐經錫（漢陽大學校）

(1) 陈千里（南开大学）「论《红楼梦》对民国文学的多方沾溉」

(2) 白知永（漢陽大學校）“Semantic and Pragmatic Conditions on Word Order Variation in Chinese”

(3) 任增霞（南开大学）「中国近代文学中的时事书写」

(4) 王敬慧（清华大学）「巴比塔外“人文”一词比较研究」

〔閉幕式 Closing Ceremony〕

主催者挨拶：河野貴美子（早稲田大学文学学術院副学術院長）

次回主催校挨拶：羅振亞（南开大学文学院・副院长）

早稲田大学比較文学研究室

2018年1月13日（土）早稲田大学39号館第7会議室

【主催】月例発表会（第221回）

杉野由紀「エカテリーナ2世の喜劇『シベリアのシャーマン』をめぐって」

亀井伸治「宿命を語る城—ホフマン『世襲領』とポオ『アッシャー家の崩壊』」

【出版】

『比較文学年誌』第54号（2018年3月25日発行）

論文：吉田裕（研究員・法学学術院教授）「バタイユと三島由紀夫—主張とすれ違いと」

論文：亀井伸治（中央大学経済学部准教授）「E. T. A. ホフマンの『世襲領』とE. A. ポオの『アッシャー家の崩壊』—欧米の幽霊屋敷小説の歴史における転換点としての—」

論文：吉田隼人（早稲田大学文学研究科博士後期課程）「演劇としての〈私〉またはエクスタシスの主体—ジョルジュ・バタイユ『内的体験』と古井由吉『神秘の人びと』他における神秘主義受容の比較—」

研究余滴：小林 茂（文学学術院名誉教授）「上田敏訳「悲哀」の原典」

研究ノート：堀内正規（文学学術院教授）「S. W. マーウィンの英訳蕪村について—ブライス、アフアナシエフ、吉増剛造とともに」

トランスナショナル社会と日本文化

2017年7月15日（土）早稲田大学39号館第7会議室

【共催】ワークショップ「朝河貫一—の教育活動」

* 私立大学戦略的研究基盤支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」主催

司会：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

報告1：中村治子（イェール大学東アジア図書館専門司書）「朝河貫一の講義科目の分析とイェール大学」

報告2：甚野尚志（早稲田大学文学学術院教授）「朝河貫一の西洋中世史の研究と教育活動」

コメンテーター：増井由紀美（敬愛大学国際学部教授）

2017年9月6日（水）早稲田大学33号館第1会議室

【主催】第3回「科研：既存荘園村落情報」シンポジウム

テーマ：カレントモデルとしての美濃国大井荘研究

趣旨説明：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

報告1：赤松秀亮（早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程、DC）

「東大寺領美濃国大井荘の「勅施入」と「開発領主」

報告2：遠藤基郎（東京大学史料編纂所教授）「古代美濃国荘園公領関係史料の再検討と条里・荘域復原研究の現状—安八郡東大寺領大井荘成立の歴史的背景を中心に—」

報告3：稲葉伸道（名古屋大学名誉教授）「大井荘研究の二三の問題について」

報告4：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

「荘園から城下町へ—変貌し、継承される防災・流通・文化—」

2018年1月27日(土) 早稲田大学39号館第7会議室

【主催】ワークショップ「朝河貫一の東アジア研究」

*私立大学戦略的研究基盤支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」主催

司会：甚野尚志(早稲田大学文学学術院教授)

報告1：武藤秀太郎(新潟大学経済学部准教授)「朝河貫一と中国歴史学—服部宇之吉との関連を中心に—」

報告2：松谷有美子(清泉女子大学附属図書館司書)

「シュワブ艦長書簡類にみる朝河貫一のイエール大学図書館のための日本資料収集」

コメント：海老澤衷(早稲田大学文学学術院教授)

グローバル化社会における多元文化の構築

2017年6月28日(水) 早稲田大学33号館第10会議室

【共催】ベトナム社会科学アカデミー、漢喃研究所 NGUYEN THI OANH (グエン・ティ・オアイン) 准教授講演会「日本の漢文訓読からベトナムの漢字訓読研究へ」

*早稲田大学文化構想学部多元文化論系、早稲田大学多元文化学会、早稲田大学日本古典籍研究所共催

2017年7月1日(土) 早稲田大学36号館382教室

【共催】早稲田大学多元文化学会2017年度春期大会 大会シンポジウム

「帝国統治と官僚制度—ローマ帝国と唐の比較史的考察—」

*早稲田大学多元文化学会主催、早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

井上文則(早稲田大学文学学術院教授)「シンポジウム趣旨説明」

新保良明(東京都市大学教授)「ローマ帝政前期における帝国官僚制—巨大帝国の「小さな政府」—」

林美希(日本学術振興会特別研究員(PD))「唐の官僚制と北衙禁軍」

2017年11月25日(土) 早稲田大学36号館382教室

【共催】早稲田大学多元文化学会2017年度秋期大会 JCulP 発足記念シンポジウム

「グローバル化する日本文化」

*早稲田大学多元文化学会主催、

早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催、角田柳作記念国際日本学研究所共催

由尾瞳(早稲田大学文学学術院准教授(JCulP))「英訳される日本文学」

ピタルク パウ(早稲田大学文学学術院准教授(JCulP))「スペインにおける日本文学の翻訳事情」

高井詩穂(早稲田大学文学学術院専任講師(JCulP))「海外における日本古典文学・芸能」

2018年2月19日(月) 早稲田奉仕園セミナーハウス1階105会議室

【共催】北京師範大学文学院 張哲俊教授講演会「京都と都門柳」

*早稲田大学日本宗教文化研究所/同日本古典籍研究所主催、早稲田大学多元文化学会共催、早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

2018年2月26日(月) 早稲田大学33号館第11会議室

【共催】浙江工商大学東方語言文化学院 郭万平副教授講演会「記憶としての「元寇」」

*早稲田大学日本宗教文化研究所主催、

早稲田大学多元文化学会共催、早稲田大学文化構想学部多元文化論系共催

イメージ文化史

2017年9月27日(水) 早稲田大学32号館128教室

【主催】講演会「フェミニズムの時代：カルラ・ロンツィを読む」

*科学研究費・若手(B)「20世紀前半のフランス前衛美術におけるレアリスムの問題とふたつの世界大戦」(研究代表者：松井裕美)共催

講演者：ジョバンナ・ザッペリ(トゥール大学教授)

司会：橋本一徑(早稲田大学教授)

コメンテーター：西谷修(立教大学特任教授)

2017年10月24日(火) 早稲田大学33号館3階第1会議室

【主催】講演会「ロドルフ・テプフェールからウィンザー・マッケイへ——ストーリーマンガの誕生」

*早稲田大学大学院フランス語フランス文学コース共催

講演：ブノワ・ペータース(作家・BD原作者・評論家)

通訳・解説：森田直子(東北大学准教授)

2017年12月5日(火) 早稲田大学33号館3階第1会議室

【主催】国際シンポジウム「写真とフェティシズム」

橋本一徑(早稲田大学教授)「写真における二つのフェティシズム」

ミシェル・ポワヴェール(パリ第1大学教授)

「覆面とネックレス：パリのシュルレアリスムにおけるエロチック写真と空想的民族学」

2017年12月16日(土) 早稲田大学36号館682教室

【主催】シンポジウム「もしもシュルレアリスムが美術だとしたら？」

長尾天(日本学術振興会特別研究員)「もしもシュルレアリスムが美術だとしたら？」

松井裕美(名古屋大学高等研究院(人文学研究科)特任助教)

「現実と超現実をつなぐ橋：ピカソの作品における梯子の表象」

吹田映子(日本大学講師)

「ルネ・マグリットにおける具象と抽象のあわい：1920年代の「初期」作品を中心に」

利根川由奈(早稲田大学講師)「現実の解放」としてのシュルレアリスム：ルネ・マグリットの壁画と壁紙」

石井祐子(九州大学准教授)「シュルレアリスム美術における展覧会の機能」

木水千里(成城大学講師)「マン・レイの数学的オブジェ」

長名大地(一橋大学大学院)「アメリカ亡命期のシュルレアリスム：マックス・エルンストを中心に」

岸みづき(早稲田大学講師)「層状の絵画：1940年代前半のシュルレアリスムと抽象表現主義」

小山祐美子(国立新美術館)「ダリとディオール」

鈴木雅雄(早稲田大学教授)「ベベ・カドムの侵略」

東アジアの人文知

2017年7月21日(金) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】国際シンポジウム「東アジアの文学研究を問う—中国文学研究の再検討と再構築—」

*私立大学戦略的研究基盤形成事業第2グループ「ポストコロニアル時代の人文学」主催、中国現代文化研究所共催

開会の挨拶・趣旨説明：千野拓政

発表1：王晓明「分かれ道にある文学」(歧路口的文学)

発表2：王宏志「いかにして文学を「論じる」か？——翻訳研究の文化的転換から——」(如何“評論”

文學？——從翻譯研究的文化轉向談起)

発表3：王風「エクリチュール・近代テクスト・新文学」(书写形式・現代文本・新文学)

パネルディスカッション (司会：千野拓政)

閉幕の辞：千野拓政

2017年7月26日(水) 早稲田大学39号館第5会議室

【主催】第5回国際フォーラム「越境する人文知」

開会の挨拶：千野拓政

発表1：寿舒舒(浙江農林大学副教授)「江戸時代における中国絵画書籍の受容—唐船持渡書を中心に—」

発表2：閻秀(中国湖南師範大学講師)「『万葉集』における鶴の歌—漢籍受容の視点から」

発表3：王亜楠(文学研究科博士後期課程)「武田泰淳『ひかりごけ』論—「光の輪」・「我慢」による人肉喰の解説—」

発表4：林振岳(復旦大学古籍整理研究所博士後期課程)「倉石武四郎《舊京書影提要》稿本について」

発表5：陳竺慧(文学研究科博士後期課程)「野村篁園の填詞における「領字」について」

発表6：周健強(北京大学博士後期課程)「日本蔵《狐媚叢談》と《狐媚鈔》版本考」

発表7：張慧倫(浙江大学中文系博士後期課程)「日本の耽美小説の中国への流入とその影響」

発表8：徐楠(北京外国語大学日本学センター)「日本語の接尾辞「化」の統語機能について」

発表9：楊玲(北京外国語大学博士後期課程)「新聞見出し表現の日中対照研究」

発表10：ジョン・ビョンミン「直前を表す副詞」(司会：森山卓郎、コメンテーター：呂妍)

発表11：呂妍(文学研究科博士後期課程)「程度表現における同形反復についての日中対照研究」

発表12：金少華(浙江大学古籍研究所講師)「李善注引《毛詩》考異」

閉会の挨拶：河野貴美子

2017年11月3日(金) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】日中青年研究者国際シンポジウム「中国と日本—新世紀文化研究の挑戦」

*私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生」主催、上海大学・南開大学共催

2017年12月9日(土) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】国際シンポジウム「東アジアの文学・文化研究の国際化とナショナリズムの陥穽」

*私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生」第2グループ

開会の挨拶・趣旨説明：鳥羽耕史

発表1：酒井直樹「地域研究と近代国際世界—パックス・アメリカーナと人種主義を巡って」

発表2：古川日出男「余白なき世界に抗する想像力」

発表3：閻連科「文学による民族主義の育成、解消そして超克」

発表4：秦剛「堀田善衛の『時間』が提起した問題」

発表5：コーチ・ジャンルーカ「『アジアスフィア』—グローバル化を越えて、アンガージュマンとしての出版・翻訳・研究」

発表6：高榮蘭「他者をめぐる翻訳—政治の力学—冷戦アジアにおける日本語空間の再編を手がかりに」

発表7：鳥羽耕史「日本研究の国際化とナショナリズム—安部公房と在日文学研究を事例に」

閉会の挨拶：千野拓政

2018年1月20日(土) 早稲田大学36号館第11会議室

【共催】国際シンポジウム「東アジアと世界の『君の名は。』」

*私立大学戦略的研究基盤形成支援事業第2グループ「ポストコロニアル時代の人文学、その再構築—21世紀の展開に向けて」主催、日本現代中国学会関東支部主催、早稲田大学中国現代文化研究所共催

開会の辞・趣旨説明：千野拓政

発表1：周志強(中国・南開大学)「物語から歴史を救う——『君の名は。』における“事件”のアレゴリー」

発表2：陳国偉(台湾・中興大学)「災害共同体の記憶と忘却：台湾における『君の名は。』」

発表3：ワダ・マルシアーノ(カナダ・カールトン大学)「北アメリカにおける『君の名は。』受容状況」

発表4：藤本一勇(早稲田大学)「二つの『世界／セカイ』の狭間——『君の名は。』と『この世界の片隅に』」

閉会の辞：千野拓政

2018年1月24日(水) 早稲田大学36号館第10会議室

【主催】第6回国際フォーラム「越境する人文知」

開会の挨拶：千野拓政

発表1：李波(上海対外経貿大学)「日本語の語順特徴について」

発表2：呂妍(早稲田大学文学研究科)「疑問を表す程度表現の意味解釈について」

発表3：趙素文(中国計量大学人文社科学院)「《寓山志》の現存版本と文献価値」

発表4：李莉薇(華南師範大学外国語文化学院)

「1930年代日本人学者の京劇観—浜一衛の京劇俳優評を中心にして」

発表5：杜雪(北京大学中文系)「雙紅堂文庫《太和正音譜》長澤規矩也手校本初探」

発表6：斯維(中山大学中文系)「悲剧观念的输入与王国维的思想脉络」

発表7：Ho, Chui Wa (New York University PhD Candidate)

“Silence/Noise and the Construction of Time on Radio during the US Occupation of Japan”

発表8：王璇静(早稲田大学文学研究科)「存在すべきではない存在——安部公房「公然の秘密」」

閉会の挨拶：鳥羽耕史

行動・社会・文化に関する多角的アプローチ

2017年6月24日(土) 早稲田大学小野記念講堂

【共催】早稲田大学心理学会公開講演会

*早稲田大学心理学会共催

坂爪一幸(早稲田大学教育・総合学術院教授)「高次脳機能からみた大人の「発達障害」

2017年8月19日(金)、20日(土) 早稲田大学38号館AV教室

【共催】第20回認知神経心理学研究会

*認知神経心理学研究会共催

2017年9月9日(土) 早稲田大学小野記念講堂

【共催】人体科学学会公開講演会

*人体科学学会共催、早稲田大学心理学会共催

坂爪一幸(早稲田大学教育・総合科学学術院)

「危惧される発達障害の増加と求められる対応—理解と支援のあり方は?—」

2017年9月28日(木) 早稲田大学39号館第4会議室

【主催】2017年度第1回勉強会

1. Yoichi Mukai (Department of Linguistics, University of Alberta, Canada)
“The Effect of Orthography in Spoken Word Recognition: The Case of Japanese”
2. 吉原将大 (早稲田大学大学院文学研究科)
「音読と発話における表記の影響—マスク下プライミング手法による検討—」
3. 日野泰志 (早稲田大学文学学術院) 「仮名語と漢字の処理差：音韻—形態対応の一貫性による検討」
4. 山本寿子 (東京女子大学大学院人間科学研究科) 「単語のピッチパターン知覚の発達過程」

2017年10月21日(土) 早稲田大学39号館第5会議室

【共催】早稲田大学心理学会第2回教養講座

*早稲田大学心理学会共催

長谷川智子 (大正大学心理社会学部教授) 「変わる家族の食卓を考える—写真法から見る日常—」

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

2017年4月25日(火) 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

吉野ヒロ子 (帝京大学専任講師) 「インターネット世論と災害」

2017年5月24日(水) 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

田所承己 (帝京大学専任講師) 「コミュニティ・カフェとその諸相」

2017年7月15日(土) 早稲田大学11号館604教室

【共催】シンポジウム “The Quest for Socially and Culturally Diversed Society”

「社会的・文化的に多様な社会を求めて」

*リスク共有型社会研究所との共催

〈Part One〉

司会：大平章 (国際教養学術院)

報告1：Julian Manning (Professor, Nihon University)

“The Uses and Abuses of Culture — Ethnonationalism and Multiculturalism”

報告2：Raul Garcia Sanchez (Lecturer of Sociology of Sport at the Universidad Europea in Madrid)

“Civilizing — Decivilizing and Formalizing — Informalizing Balances in the Development of Japanese Material Traditions”

〈Part Two〉

司会：和田修一 (文学学術院・研究部門研究員)

報告3：岡本智周 (筑波大学)

「文化統合装置としての学校歴史教育について—リスク共有型社会研究所での活動を通して見てきたもの」

報告4：小藪明生 (早稲田大学)

「社会参加や人間関係形成と治安意識、信頼、格差—社会関係資本にもとづく日本全国データ分析から」

2017年7月15日(土) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】地域社会学会研究例会「地域社会の共同性の再構築をめぐる」

*地域社会学会との共催

船戸修一(静岡芸術文化大学)「地域社会の共同性の再構築に向けて—大会シンポジウムの成果と課題」
田中志敬(福井大学)「地方の抗い—福井市中心市街地の取り組みを事例として」

2017年7月19日(水) 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

柄本三代子(東京国際大学准教授)「食とリスクコミュニケーション」

2017年9月9日(土)、10日(日) 早稲田大学31号館・36号館

【共催】日本都市社会学会大会

*日本都市社会学会との共催

1日目

〔自由報告部会Ⅰ〕

司会：上野淳子(桃山学院大学)

報告1：金銀恵(日本学術振興会外国人特別研究員・一橋大学大学院)

「韓国のジェントリフィケーションを再考する」

報告2：丸山真央(滋賀県立大学)

「大都市都心部のマンション住民の社会・政治意識——ジェントリフィケーション論の観点から」

報告3：栗原真史(一橋大学大学院)

「地価高騰下における「住民」の解体と再編——バブル期・東京都心の住宅政策を事例に」

報告4：武田尚子(早稲田大学)

「近代東京における軍用地形成の歴史的要因——青山・千駄ヶ谷の土地利用の変遷」

〔自由報告部会Ⅱ〕

司会：原田謙(実践女子大学)

報告1：有末賢(亜細亜大学)

「都市社会学にとってのソーシャル・イノベーション」

報告2：関口英里(同志社女子大学)

「地方都市の産業発展にむけて——地域連携型プロジェクト教育の実践と成果」

報告3：吉田愛梨(首都大学東京大学院)

「大都市圏に居住する中高年女性を取り巻くサポート提供主体の検討」

報告4：成田凌(首都大学東京大学院)

「世代と移動に着目した人口分析」

〔ラウンドテーブルⅠ 都市／ストリート〕

司会：五十嵐泰正(筑波大学)、下村恭広(玉川大学)

〔ラウンドテーブルⅡ 都市／社会運動〕

司会：文貞實(東洋大学)、鈴木久美子(常葉大学)

2日目

〔自由報告部会Ⅲ〕

司会：北川由紀彦(放送大学)

報告1：町村敬志(一橋大学)

「イベントスペース」形成をめぐる対立・紛争と価値創発性——東京イベントスペース分析2017①」

報告2：辰巳智行（一橋大学大学院）

「都市の再編成とイベントスペースの分析——東京イベントスペース分析2017②」

報告3：長島祐基（一橋大学大学院）

「社会運動における人が集う場所：現代の公共空間に関する一考察——東京イベントスペース分析2017③」

報告4：高橋絢子（一橋大学大学院）

「エンタテインメントシティ」における、見えづらいバックストリート——東京イベントスペース分析2017④」

報告5：小股遼（一橋大学大学院）

「〈空〉間が〈生〉間になるとき——東京イベントスペース分析2017⑤」

〔自由報告部会Ⅳ〕

司会：山本かほり（愛知県立大学）

報告1：藤代将人（専修大学大学院）

「エスニックメディアとエスノサバーブ性——厚木市とその周辺における日系ブラジル人パイオニアによる事業展開を事例に」

報告2：丹部宣彦（名古屋大学）、ハヤシ・ブルーノ（名古屋大学大学院）

「豊田市保見団地における日系ブラジル人定住層と集合行為——生活ニーズと社会的ネットワーク形成をめぐって」

報告3：高畑幸（静岡県立大学）

「東海地方における外国人労働者の「逆転現象」——静岡県焼津市の事例」

報告4：徳田剛（大谷大学）

「地域国際化協会の現況と課題——“国際交流”と“多文化共生”のはざままで」

〔シンポジウム〕

コミュニティ論のモダンパラダイム再考——日本の近代とアジアの現代

報告者：室井研二（名古屋大学）、新田日夏実（拓殖大学）、菱山宏輔（近畿大学）

討論者：阪口毅（中央大学）、黒田由彦（椛山女学園大学）、佐藤裕（都留文科大学）

司会者：松宮朝（愛知県立大学）、丸山真央（滋賀県立大学）

2017年10月16日（月） 早稲田大学39号館第5会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

野坂真（早稲田大学助手）

「岩手県大槌町における住宅再建後の課題——災害復興公営住宅入居者調査の結果から」

2017年11月20日（月） 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

松村治（早稲田大学招聘研究員）

「福島からの被災者のウェルビーイング調査から見えるものとアンケート調査の難しさについて」

2017年12月8日（金） 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

小林秀行（明治大学専任講師）「災害復興の描き方に関する研究——復興の目標像を紡ぐことの意義」

2017年12月23日(火) 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】研究部門研究会

*シニア社会学会との共催

伊藤勝(江戸川大学理事)「身を守る教訓とまず行うこと—“Scientific Knowledge in Seconds & First Actions Explained in an Instant”の作成について」

2018年3月17日(土) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】第4回シンポジウム「あれから7年~わたしたちはフクシマを忘れない—首都圏への長期避難」

*シニア社会学会「災害と地域社会」研究部会共催

司 会:長田攻一(シニア社会学会理事、「災害と地域社会」研究会座長)

松村治(新宿NPOネットワーク協議会理事、早稲田大学地域社会と危機管理研究所研究員)

報 告 者:大坊雅一(東雲住宅避難者自治会「東雲の会」事務局長)

佐藤恒富(NPOかながわ避難者と共にあゆむ会事務局)

西城戸誠(NPO法人埼玉広域避難者支援センター代表理事、法政大学人間環境学部教授)

コメンテータ:川副早央里(早稲田大学文化構想学部現代人間論系助手)

伊藤まり(福島県浪江町民)

浦野正樹(早稲田大学教授、早稲田大学人文科学総合研究センター〈現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究〉部門代表)

2018年3月23日(金) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】第4回災害問題研究交流会

*シニア社会学会「災害と地域社会」研究部会共催

第1セッション「津波被災地における災後の社会課題の推移」

第2セッション「原発事故をめぐる社会的推移と対応課題」

第3セッション「災害時の自治体—住民—ボランティア活動の連携の可能性」

第4セッション「災害と社会との対話の諸相」

知の蓄積と活用に向けた方法論的研究

2017年7月8日(土) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】第69回早稲田社会学会2017年度大会

*早稲田社会学会共催

〈一般報告〉

清水克郎(岩波書店)「ボブ・ディランの社会学」

酒井宏明(早稲田大学文学研究科)「『社会の心理学化』論の再検討」

大坪真利子(早稲田大学文学学術院)「『常人の視覚』における同性愛者の不可視性の問題について」

大窪彬夫(早稲田大学社会科学部研究科)「『社会分化論』の再解釈の試み」

〈テーマ:「人文・社会科学の危機」を考える〉

田中千津子(学文社)「苦境に立つ学術専門書の飛躍を思う—編集者の現場からの視点」

太郎丸博(京都大学)「科学の政治化と社会学の『危機』」

松本三和夫(東京大学)「学術と社会の境界面で想起すべきこと—科学社会学者の視点」

閉会の辞:浦野正樹(早稲田大学)

2017年11月18日(土) 早稲田大学33号館第11会議室

【主催】第11回部門研究会

1. Bernard Thomann (INALCO、東京外語大学客員教授)
“Labor rationalization in Japan coal mining industry from the early 50s to the 70s”
2. Chelsea Szendi Schieder (明治大学)
“Daughters of the Mountain: Women in Coal Communities”
3. 宮本隆史 (東京大学)
“Evolution of Prison Archive in Miike: A Case Study of Kikuchi Tsuneki’s Letter”
4. 坂田勝彦 (東日本国際大学)
「産炭地域の〈戦後〉史—杵島炭鉱の元労働者の経験から—」
5. 菊池美幸 (九州大学・博士後期課程)
「近代日本における炭鉱病院の機能と役割」
6. 笠原良太 (早稲田大学・博士後期課程)
「歴史的出来事との遭遇と青年たちの危機的移行—炭鉱の事故・閉山によるライフコースの攪乱と軌道修正—」
7. 清水拓 (早稲田大学・博士後期課程)
「太平洋炭鉱労働組合の機械化への態度—ミニ新聞『5分間ニュース』の分析から」
8. 崔允瑞 (北京大学・博士後期課程)
「戦後日本の炭鉱都市女性組織と女性活動家の経験：北海道炭鉱主婦会・炭鉱主婦協議会の事例を中心に」

社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ

2017年10月21日(土)、22日(日) 21日会場：早稲田大学36号館382教室

22日会場：早稲田大学大隈記念講堂小講堂

【共催】学術シンポジウム「3D考古学の再挑戦 遺跡・遺構の非破壊調査研究」

*早稲田大学総合研究機構主催

*早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所／文化財総合調査研究所／先史考古学研究所／
比較考古学研究所エジプト学研究所／早稲田大学高等研究所／早稲田大学文学部考古学コース共催

10月21日(土)

〈開会挨拶〉花井俊介(早稲田大学総合研究機構長)

〈趣旨説明〉城倉正祥(早稲田大学准教授、早稲田大学東アジア都城・シルクロード考古学研究所所長)

〈発表〉

亀井宏行(東京工業大学)

「遺跡探査の重要性」

高橋龍三郎(早稲田大学)・西野雅人・菅谷通保・松田光太郎(千葉市埋蔵文化財調査センター)

「地中レーダー探査(GPR)は貝塚の実態をどこまで明らかにできるか」

阿児雄之・沖原高志(東京工業大学)

「探査でわかる古墳の構造」

城倉正祥(早稲田大学)

「古墳のデジタル三次元測量・GPR調査の方法とその可能性」

青木弘(埼玉県埋蔵文化財調査事業団)・横山真・千葉史(株式会社ラング)

「横穴式石室研究の課題と三次元計測の可能性」

伝田郁夫(早稲田大学)

「横穴墓におけるGPR調査と三次元計測」

東憲章(宮崎県立西都原考古博物館)

「GPR を利用した大規模遺跡における地下マップ制作の実践 特別史跡西都原古墳群（宮崎県西都市）」

10月22日（日）

〈発表〉

寺崎秀一郎（早稲田大学）・中村誠一（金沢大学）

「ホンシジュラス世界遺産コパンのマヤ遺跡におけるデジタル三次元測量と GPR 調査の成果と課題」

馬場匡浩・近藤二郎（早稲田大学）

「エジプトにおける遺跡探査」

早川裕弐（東京大学）

「UAS を用いた遺跡周辺環境計測」

大石岳史（東京大学）

「レーザ計測による大規模構造物の3次元デジタル化と解析」

下田一太（文化庁）・田畑幸嗣（早稲田大学）

「密林に覆われたアンコール遺跡群の実像解明」

〈総合討議〉司会：城倉正祥・田畑幸嗣

2017年11月18日（土）早稲田大学36号館382教室

【後援】シンポジウム「最新科学による西アジア文化遺産の調査と保護」

*日本西アジア考古学会主催

*早稲田大学エジプト学研究所共催

〈開催趣旨説明〉常木晃（日本西アジア考古学会会長・筑波大学）

〈発表〉

吉村作治（東日本国際大学）・大石岳史（東京大学生産技術研究所）

「クフ王第2の太陽の船と三次元デジタル計測～仮想復元に向けて～」

宮廻正明（東京藝術大学）

「クローン文化財技術の文化財保護への活用」

早川裕弐（東京大学空間情報科学研究センター）

「3次元計測手法を用いた遺跡と周辺環境の地理空間情報調査」

恵多谷雅弘（東海大学情報技術センター）

「宇宙考古学の最前線」

近藤康久（総合地球環境学研究所）

「現地の課題応えるアクションリサーチ～オマーンのデジタル文化遺産目録づくりの現場から～」

〈オープンディスカッション〉

〈閉会挨拶〉近藤二郎（早稲田大学エジプト学研究所・シンポジウム実行委員長）

ヨーロッパ基層文化の学際的研究

2017年6月24日（土）早稲田大学39号館美術史実習室

【後援】ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所第23回研究会

*ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所主催 テーマ「聖書解釈と信仰実践」

報告1：毛塚実江子（共立女子大学非常勤講師）「10世紀イベリア半島における写本挿絵の刷新と諸問題」

報告2：鈴木喜晴（早稲田大学本庄高等学院非常勤講師）「14世紀後半における厳修化と反一托鉢修道会」

2017年7月15日(土) 早稲田大学39号館第7会議室

【共催】ワークショップ「朝河貫一の教育活動」

* 私立大学戦略的研究基盤支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」主催

司会：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

報告1：中村治子（イェール大学東アジア図書館専門司書）「朝河貫一の講義科目の分析とイェール大学」

報告2：甚野尚志（早稲田大学文学学術院教授）「朝河貫一の西洋中世史の研究と教育活動」

コメンテーター：増井由紀美（敬愛大学国際学部教授）

2017年9月30日(土) 早稲田大学39号館第7会議室

【後援】早稲田大学高等研究所「比較文明史」セミナーシリーズ

「中世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視覚」研究会

* 「早稲田大学高等研究所「比較文明史」セミナーシリーズ—中近世キリスト教世界の多元性とグローバル・ヒストリーへの視角—」「早稲田大学ヨーロッパ中世ルネサンス研究所」共催

テーマ：「宗教改革期の図像」趣旨説明 甚野尚志（早稲田大学文学学術院教授）

報告1：高津秀之（東京経済大学経済学部専任講師）

「100年後の「アウクスブルクの信仰告白」—1630年の宗教改革のプロパガンダ—」

報告2：冬木ひろみ（早稲田大学文学学術院教授）

「16世紀後半から17世紀のイギリスにおける宗教とエンブレムの関係」

報告3：松原典子（上智大学外国語学部教授）

「対抗宗教改革期のスペインにおける宗教図像」

2018年1月27日(土) 早稲田大学39号館第7会議室

【主催】ワークショップ「朝河貫一の東アジア研究」

* 私立大学戦略的研究基盤支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」主催

司会：甚野尚志（早稲田大学文学学術院教授）

報告1：武藤秀太郎（新潟大学経済学部准教授）「朝河貫一と中国歴史学—服部宇之吉との関連を中心に」

報告2：松谷有美子（清泉女子大学附属図書館司書）

「シュワブ艦長書簡類にみる朝河貫一のイェール大学図書館のための日本資料収集」

コメント：海老澤衷（早稲田大学文学学術院教授）

角田柳作記念国際日本学研究所

2017年4月21日、5月12日、6月9日、7月21日、9月8日、10月6日、11月10日、12月15日、

2018年1月19日、2月9日(金) 早稲田大学33号館713室

【共催】『於于野譚』研究会

* 朝鮮漢文会『於于野譚』研究会主催

朝鮮の「野談」資料を輪読する研究会を開催。

2017年5月5日～9日(金～火) カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)

【主催】狂言の夕べ in Los Angeles

* カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)も同じく主催

野村万作講演：「狂言に生きて」

国際シンポジウム “Traditional Japanese Theater and Theater Studies in a Global Age”

(世界における日本演劇、伝統芸能研究の将来)

狂言公演 於 Aratani Theatre (Japanese American Cultural & Community Center)

ワークショップ 於 El Marino Language School (Culver City) 狂言講座

2017年6月6日(火) 早稲田大学33号館第10会議室

【主催】 Paul Anderer 教授 (コロンビア大学) 講演会

「On Kurosawa's RASHOMON 羅生門」

2017年7月12日(水) 早稲田大学33号館第10会議室

【共催】 David Lurie 准教授 (コロンビア大学) × 李成市教授 (早稲田大学) 講演会 & 対談

「人文学は生き残るかー Will the HUMANITIES Survive? ー」

* スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 国際日本学拠点主催

2017年7月22日(土)、23日(日) 早稲田大学33号館第1会議室

【共催】 「日本「文」学史」第3回ワークショップ「文」から「文学」へ——東アジアの文学を見直す」

* 早稲田大学日本古典籍研究所主催

* 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業:

「近代日本の人文学と東アジア文化圏——東アジアにおける人文学の危機と再生」共催

2017年8月1日(火) 早稲田大学小野記念講堂

【共催】 アカデミックリーダーセミナー

* スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 国際日本学拠点主催

講師: 多和田葉子氏 「雄猫から二日酔いへー言語とアイデンティティ」

2017年8月3日(木) 早稲田大学36号館681教室

【共催】 伊藤比呂美氏講演会

* スーパーグローバル大学創成支援事業 (SGU) 国際日本学拠点主催

* 早稲田大学文化構想学部 文芸・ジャーナリズム論系共催

第1部: 講演「アメリカと私、「日系」人としての私」

第2部: 人生相談「人生相談ライフ! 万事OK」

2017年10月25日~29日(水~日) カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)、

南カリフォルニア大学 (USC)

【主催】 言語や環境を超えて訴える—是枝裕和監督映画イベント

* カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 共催

2017年11月25日(土) 早稲田大学36号館382教室

【共催】 2017年度多元文化学会秋季大会 大会シンポジウム / JCulP 発足記念シンポジウム

「グローバル化する日本文化」

* 早稲田大学多元文化学会主催

* 早稲田大学文化構想学部多元文化論系、

早稲田大学総合人文科学研究センター「グローバル化社会における多元文化の構築」部門共催

〈発表者〉

由尾瞳 (本学文学学術院准教授 (JCulP)) 「英訳される日本文学」

ピタルクパウ（本学文学学術院准教授（JCulP））「スペインにおける日本文学の翻訳事情」

高井詩穂（本学文学学術院専任講師（JCulP））「海外における日本古典文学・芸能」

〈ディスカッサント〉

安藤文人、小田島恒志、河野貴美子

2018年1月10日（水）早稲田大学33号館第10会議室

【共催】Sarah Olive（ヨーク大学講師）講演会

“Shakespeare and Citizenship Education in Japanese higher education”

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）国際日本学拠点主催

2018年1月15日（月）早稲田大学33号館第10会議室

【共催】David Atherton（ハーバード大学助教授）講演会

「近世初期の日本における作者とは？読本の挿絵からその答えを導く」

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）国際日本学拠点主催

2018年1月26日（金）早稲田大学国際会議場

【共催】国際検閲ワークショップ

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）国際日本学拠点主催

〈第1部：基調講演〉早稲田大学国際会議場井深大記念ホール

ロバート キャンベル（国文学研究資料館長）

「Popcorn on the Ginza — 占領期における日本の都市表象と文学 —」

宗像和重（早稲田大学教授）「近代文学の「検閲」をめぐって」

〈第2部：若手研究者によるラウンドテーブル「検閲と文学研究の現在」〉早稲田大学国際会議場第3会議室
牧義之（長野県短期大学助教）

「戦前・戦中期の出版警察と図書館との関係について—事務文書から読み解く—」

尾崎名津子（弘前大学講師）「岩波文庫への検閲について」

村山龍（慶應義塾大学非常勤講師）「児童読物改善ニ関スル指示要綱」の改稿過程を探る」

金ヨンロン（早稲田大学研究院客員助教）

「占領期における検閲主体の読書行為をめぐって—東京裁判と検閲を中心に—」

逆井聡人（東京外国語大学特任講師）「在日朝鮮人文学と自己検閲：金達寿作品を中心に」

2018年1月31日（水）早稲田大学33号館第10会議室

【主催】Jennifer Guest（オックスフォード大学准教授）ワークショップ「翻訳・翻案・訓読から見る東アジア」

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）国際日本学拠点も同じく主催

* 早稲田大学日本古典籍研究所共催

2018年2月3日（土）早稲田大学33号館第10会議室

【共催】国際シンポジウム「人文学の危機とは何か」

* 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生」主催

* スーパーグローバル大学創成支援事業（SGU）国際日本学拠点共催

〈趣旨説明〉李成市（早稲田大学教授）

〈発表〉デイヴィッド・ルーリー（コロンビア大学准教授）「人文学は誰のためですか」

ラインハルト・ツェルナー（ボン大学教授）「フンボルトはボロニアまで来なかった」

張翔（復旦大学教授）「人文・社会科学の価値中立と普遍的価値」

朴俊炯（ソウル市立大学助教授）「人文学の流行と危機のはざままで—韓国の場合—」

徐興慶（台湾・中国文化大学教授）「台湾における人文学研究の発展とその問題点」

〈討論〉司会：李成市（早稲田大学教授）

討論者：磯前順一（国際日本文化研究センター教授）、仁藤敦史（国立歴史民俗博物館教授）

2018年3月2日（金）、3日（土） コロンビア大学

【主催】コロンビア大学国際ワークショップ “Japanese Theater, Publishing Culture, and Authorship”

〈趣旨説明〉ハルオ・シラネ（コロンビア大学）

〈発表〉

ハルオ・シラネ（コロンビア大学）「パフォーマンス、伝承、教育—比較論的視点から作者性を再考する」

竹本幹夫（早稲田大学）「能の作者」

児玉竜一（早稲田大学）「歌舞伎の作者」

埋忠美沙（早稲田大学）「歌舞伎の作者—幕末から明治を中心に」

鈴木登美（コロンビア大学）

「近代〈作者〉の問題—近代日本における〈文学〉概念・実践との関連において」

〈総括〉李成市（早稲田大学）

討論者：小峯和明（早稲田大学）、Mo Li（コロンビア大学）、高井詩穂（早稲田大学）、北村結花（神戸大学）、Lewis Cook（Queens College of the City University of New York）、嶋崎聡子（University of Southern California）

2018年3月29日～31日（木～土） カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）

【主催】UCLA 国際シンポジウム “Technologies of performance in East Asia”

現代日本における「想像力」の総合的研究

2017年4月15日（土） 早稲田大学33号館第10会議室

【主催】2017年度第1回「想像力」研究会

- ・新規部門立ち上げに伴う運営方法に関する意見交換
- ・「想像力」についての討議（部門構成員）

2017年6月30日（金） 早稲田大学33号館第11会議室

【主催】2017年度第2回「信頼社会」研究会

〈話題提供〉御子柴善之（早稲田大学）「ひとはなぜ『想像力』に期待するのか」

岡部耕典（早稲田大学）「相模原障害者殺傷事件と想像力」

2017年10月20日（金） 早稲田大学33号館第10会議室

【主催】2017年度3回「想像力」研究会

〈話題提供〉山田真茂留（早稲田大学）「われわれ」を超えて—想像力の翼と功罪」

2017年12月15日（金） 早稲田大学33号館第10会議室

【共催】2017年第4回「想像力」研究会

- * 「共存と創造のスタイルに関する研究会」（代表者・國弘暁子准教授／本学特定課題研究）共催
- 〈講演〉山本まゆみ（宮城大学）「『慰安婦』を巡る公文書と言説の狭間で：米国日本研究者の文化」
- 〈コメンテーター〉山崎隆広（群馬県立女子大学）
- 〈コーディネーター〉國弘暁子（早稲田大学）